

報告

日本天文学会第 18 回ジュニアセッション報告

石田光宏（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
ジュニアセッション世話人）

2016 年 3 月 14 日、首都大学東京の南大沢キャンパスで第 18 回日本天文学会ジュニアセッションが開催された。今回の参加者数は約 450 名で（昨年度は約 500 名）、平日の開催にも関わらず、例年並みの参加人数となった。ジュニアセッションへの関心度の高さがうかがえる。また、図 1 に示すように、ここ数年ジュニアセッションへの発表件数が増えてきている。それを受け、実行委員会では複数日開催、または複数会場開催が議論されてきた。一昨年度、第 16 回は初の複数日開催となり、昨年度、第 17 回は初の複数場所開催（パラレルセッション）となった。そして今年度はポスター発表を中心としたセッションとなった。表 1 は当日のプログラムの概要である。午前中はポスターセッション（図 2、図 3）で、休憩をはさみ、午後は 1 分間の口頭セッション（図 4、図 5）、最後にポスターセッションを行って終了した。発表時間や分野の詳細については表 1 をご覧頂きたい。



図 2 ポスターセッション 1

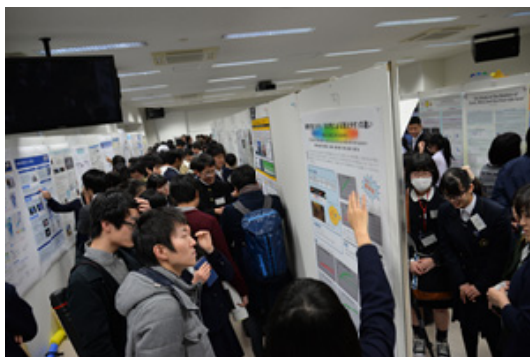


図 3 ポスターセッション 2

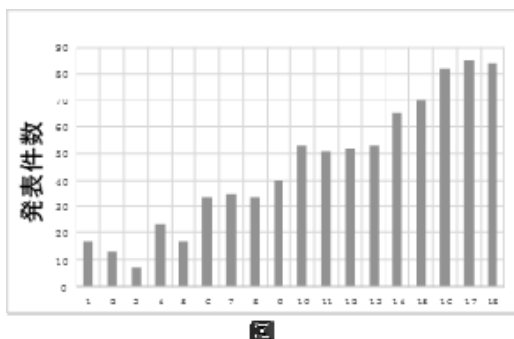


図1 ジュニアセッション発表件数の推移
横軸が開催回数、縦軸は発表件数を示す。今年
は84件の発表があった。

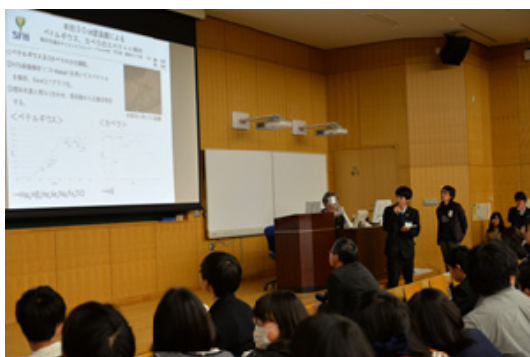


図 4 口頭セッション 1

表 1 当日のタイムテーブル

10:30	受付開始（首都大学東京南大沢キャンパス 6号館 1階（年会 J会場）前）
11:00	ポスターセッション（コアタイム）（6号館 4階）
13:30	<p>口頭セッション（年会 J会場）</p> <p>座長：山村一誠（宇宙航空研究開発機構）、本間隆幸（府中市郷土の森博物館）</p> <p>セッション I 夜空の明るさ 1-10 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション II 太陽・位置天文 17-22,29-32 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション III 装置開発・宇宙開発 33-42 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション IV タイセッション 44-50 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション V 星形成・銀河・銀河団 51-57 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション VI 恒星 58-66 （各講演 1分） +質疑 5分</p> <p>セッション VII 太陽系天体・系外惑星 68-78 （各講演 1分） +質疑 5分</p>
15:30	ポスターセッション
17:00	終了



図 5 口頭セッション 2

今回は昨年度から検討されてきたポスターセッション中心の発表会であったが、参加者にとって大変良い会になったのではないかと感じる。ポスターセッションは午前の部、午後の部ともに大盛況で、常時様々な意見交換がなされていた。特に、昼休みになっても活発な議論を続けているグループが多かったことは印象深い。口頭セッションでは、1講演1分間という非常に短い発表時間であったのにも関わらず、質問が相次ぎ、多くの議論がなされた。また会場も満席で、立ち見が出るほどであった。そして何より、発表者が与え

られた時間をしっかり守って発表していた。これにより、予定通りの進行になったことも良かった点である。

課題としては、まだまだ研究者の参加が少ないことが挙げられる。発表者は同世代との議論と同じくらい、研究者からアドバイスをもらうのを楽しみに参加している。今後、ジュニアセッションを研究者にどう宣伝していくか議論する必要がある。また、今回から参加者（引率者含む）にアンケートをとる試みが行われた。内容は参加のきっかけなど細かく分類されている。その結果を踏まえ、来年度（3/18（土）九州大学）に向けて準備を進めていきたい。



石田 光宏